

第5回 神奈川県営水道懇話会 専門部会 議事要旨

日時・令和元年10月7日

場所・都道府県会館 神奈川県東京事務所 会議室（東京都 永田町）

部会員・作新学院大学名誉教授 太田 正

公益社団法人日本水道協会研修国際部国際課長 渋谷 正夫

EY 新日本有限責任監査法人 シニアマネージャー公認会計士 高橋 晶子

東洋大学 国際学部国際地域学科教授 沼尾 波子

（五十音順・敬称略）

1・議事内容

- ・これからの時代に相応しい料金体系のあり方の検討について
（今後の議論の進め方）

○ 議論の進め方（県企業庁提案）と部会員の意見（概要）

議論の進め方（県企業庁提案）	部会員の意見（概要）
<p>【第1ステップ】 将来にわたる安定経営の持続と、お客様の受益と負担の公平性の観点から、「基本料金」や「基本水量の水準」、「従量料金制の逡増度」、「水道利用加入金」など、これからの時代に相応しい料金体系のあり方全体について、中長期の視点に立って検討する。</p> 	<ul style="list-style-type: none">○ 第1ステップと第2ステップは相互に密接に関係する事項ではあるが、手順としてはそれぞれの段階を踏んで議論を進めていく。○ 1～2年程度を予定して、一定のとりまとめが出来るように進める。○ 最終的に固定化されたものを確定させるよりは、一定の方向性を出す、枠組みを設定するという意味合いで検討する。
<p>【第2ステップ】 水需要の推移及び受水費の変更を踏まえ、水道事業の財政見通し等を再度シミュレーションしたうえで、料金水準を検討する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>まず、第1ステップを検討し、その後に第2ステップを検討する</p></div>	<ul style="list-style-type: none">○ 具体的な金額や水需要の実態を踏まえた上で第2ステップを進めるが、料金水準を検討する中で、再度、第1ステップの枠組の中身を詰めていくという繰り返し作業になっていくことが想定される。